



平成 21 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名 取締役社長 安江 恵
(コード番号 3205 東証・名証第一部)
問合せ先 経営管理室長 福羅 喜代志
(TEL. 03-3257-5022)

連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 11 月 6 日に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 修正の内容

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	31,700	600	1,100	600	円銭 30.31
今 回 修 正 予 想 (B)	30,300	0	0	△4,300	△119.42
増 減 額 (B-A)	△1,400	△600	△1,100	△4,900	—
増 減 率 (%)	△4.4%	△100.0%	△100.0%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	32,744	1,183	2,444	4,783	130.62

(2) 業績予想修正の理由

売上高の減少の主たる要因は、米国発の金融危機による世界的な景気減退に伴い、衣料製品の売上高が大幅に落ち込む見通しとなったことと、中国連結子会社の第 4 四半期において大幅な円高人民元安による為替評価損の発生及び持分法適用会社の持分法投資損失の計上によるものです。また債券・株式市場の低迷にともない平成 21 年 1 月 9 日「投資有価証券評価損に関するお知らせ」の通り評価損を計上したこと等により平成 20 年 11 月 6 日の公表値を下回る見通しとなったため、修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、本業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

2. 配当予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期配当予想修正の内容

基準日	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	年間
前回予想 (平成 20 年 11 月 6 日発表)	円銭 20.00	円銭 38.00	円銭 58.00
今回修正予想	—	23.00	43.00
当期実績	20.00	—	—
前期 (平成 20 年 3 月期)	—	58.00	58.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を最重要課題のひとつと位置づけております。利益の配分につきましては、収益力の強化により配当を弾力的に行うため、配当政策といたしまして、連結経常利益の 30%を基準とする業績連動型を基本方針と定め、前期よりキャッシュフローの発生する特別損益（有価証券等の売却や固定資産等の売却）の利益増加分につきましても、その金額の 30%を、その後の数年間にわたって配当原資に加えることとし、経営環境、内部留保の充実等を総合的に勘案して提案させていただくことといたしております。

しかしながら、今回の業績予想の修正に伴い、従来の配当方針では期末の普通配当金は見送らざるを得なくなりますが、安定的、継続的な配当を行うことを必要と考え、期末配当金に付きましては遺憾ながら前期実績を下回る 23 円に修正させていただきます。

現在、見直しを進めております年間計画を早急に策定・実施し、来期以降の業績回復に全力を挙げる所存でございますので、何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上